

できる・できる・できる

第七十八回卒業式 紙吹雪舞う



三月十四日に長崎市立梅香崎中学校第七十八回卒業生七十名が巣立っていきま

した。
今年の卒業生が一年生だったころはコロナ禍の真ただ中。入学式、中総体、体育大会、合唱コンクールなど、様々な行事は制限付きのものばかりでした。

二年生の頃は、コロナに伴う制限がだいぶやわら

ぎ、卒業式も五年ぶりに卒業生とその保護者、在校生、職員、来賓が揃いました。

そして、三年生になってからは、学校生活の様々な場面がコロナ禍前の状況と変わらないほどに改善されました。

変化の激しい三年間を、その時、その時を大事にしなが、自分を信じ、仲間を信じて夢の実現、目標の達成のために、日々前進してきた七十名でした。

私は、毎年、三年生に向けた早朝補習「梅中道場」を続けてきましたが、今年の三年生は、一月に自分の第一志望高校に合格し、すでに受験を終えた生徒も、全員の受験が終了するまで梅中道場に違い続けたという絆の深い学年集団でした。

絆の深さ、集団のまとまりは、四年前にオンライン



で実施した入学説明会の時から感じていました。元氣・パワーがあふれ、まとまりのある学年だと思えました。入学後の三年間、私だけでなく、色々な人が、今年の卒業生から元氣を随分もらいました。

管理職となつてから、毎年、卒業証書の浄書を行っています。今年も個性際立つ生徒一人一人を思い浮かべながら、浄書を楽しみました。自分が浄書した卒業証書を手渡し、その直後に式辞を述べる幸せを感じることができました。マスクを外した卒業生の

発 行 者 長崎市立梅香崎中学校
校 長 高坂 英晃
HP: www.nagasaki-city.ed.jp/umegasaki-j
TEL095-824-4997
FAX095-822-4412



表情を見ながら、「卒業おめでとう」の言葉をかけ、卒業生一人一人から「ありがとうございます」という言葉をもらいました。感無量、感動の瞬間でした。

卒業生を代表して答辞を述べてくれたのは、前生徒会長の高坂生さん。「新たな二つの行事、絆行事合唱編、絆行事体育編は、苦労も多かったが、その分、仲間の絆が深まった。また、生徒会で企画した地域クリーン作戦が地域の方に喜んでもらったのも嬉しかった。

た。」と三年間を振り返りました。また、皆への感謝、後輩への励ましも忘れないすばらしい答辞でした。

在校生を代表して生徒会副会長の松村紀保さんが送辞を述べました。「雨の日も、雪の日も歯を食いしばって梅中道場に向かう先輩たちの姿に憧れを抱いた。青春の一ページ、一ページを積み重ねてこられた先輩たちに絶対に続けたい。」といった憧れや引き継ぎの意志を固めてくれました。

私の式辞は、毎年、卒業生のために曲を作り、卒業式の週の「心を耕す時間」で披露していますが、その曲「ありがとう」の歌詞を引用し、卒業生にメッセージを送りました。

「あなたにももらったあの言葉」「あなたにももらったあの勇気」「みんなにももらったあの思い」「ここで過ごせた毎日ありがとう」「いくら感謝しても足りないくらい ありがとう」「五つの音ではたりないくらい ありがとう」

卒業生への感謝の気持ちを表し、卒業生に贈る最後の言葉としました。式辞の結びで「できた・できた・できた」と叫ぶ生徒の表情、卒業生が投げ上げた紙吹雪が舞い散る様子は、一生忘

れません。ありがとう。

令和六年度修了 九名の職員との別れ

三月二十四日の修了式、そして最後の学級活動、修了式で令和五年度の全ての教育活動を終了します。離任式では、人事異動により本校を去る九名の職員とのお別れになります。

〈退職〉

高坂英晃 校長 (国語)
県教育センター再任用
長本彩花 教諭 (理科)
中小路和久 講師 (国語)
橋中 臨時的任用
〈新規採用〉

坂口朋軌 教諭 (理科)
土井首中学校へ
〈転出〉

植木誠吾 教諭 (数学)
土井首中学校へ
大津順子 教諭 (音楽)
日見中学校へ
西 範久 教諭 (美術)
淵中学校へ

外菌麻紀 教諭 (英語)
福田中学校へ
市野保奈美 養護教諭

五島市立翁頭中学校へ
四年間、学校だよりを発行してきましたが、定年退職により、この号を最終号といたします。